

製品名: TWIST1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81225**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC 1:50-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	21kDa

抗原情報

遺伝子名	TWIST1
別名	SCS; ACS3; CRS1; BPES2; BPES3; TWIST; bHLHa38
遺伝子 ID	7291.0
SwissProt ID	Q15672
免疫原	大腸菌で発現したヒト TWIST1 (AA: 9-74) の精製された組み換え断片。

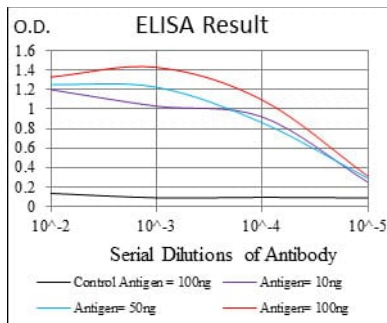
背景

塩基性ヘリックス・ループ・ヘリックス (bHLH) 転写因子は、細胞系譜の決定と分化に関与していることが示唆されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は bHLH 転写因子であり、別の bHLH 転写因子である Dermo1 と相同性を有しています。こ

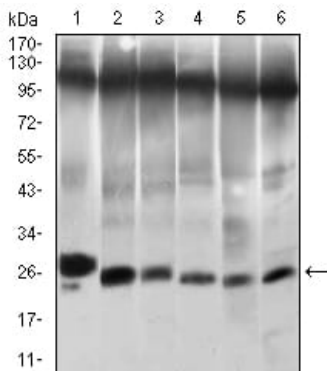
の mRNA の発現は胎盤組織で最も強く、成人では中胚葉由来の組織で優先的に発現します。この遺伝子の変異は、セートレ・チョツェン症候群の患者で発見されています。

研究分野

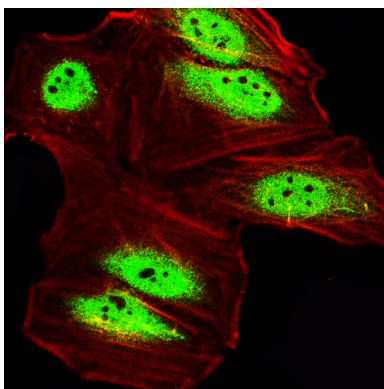
画像データ



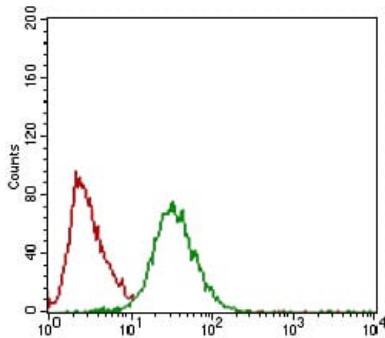
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



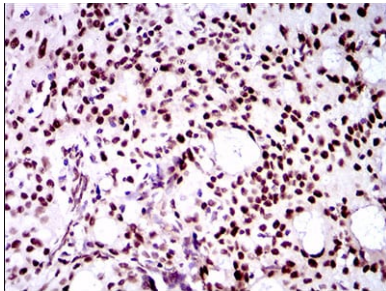
NIH/3T3 (1)、JURKAT (2)、HELA (3)、A549 (4)、RAJI (5)、OCM-1 (6)細胞溶解物に対する TWIST1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



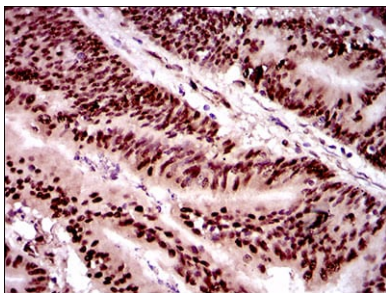
TWIST1 マウス mAb (緑) を用いた Hela 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



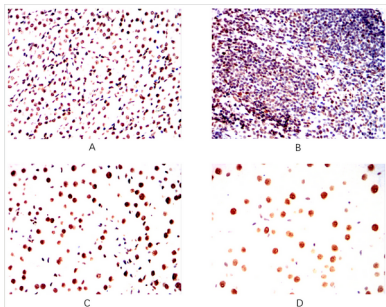
TWIST1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



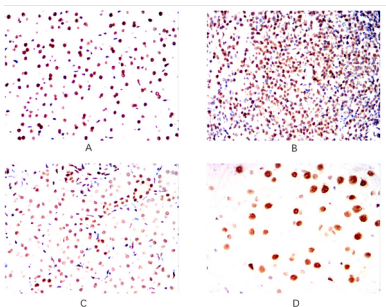
TWIST1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



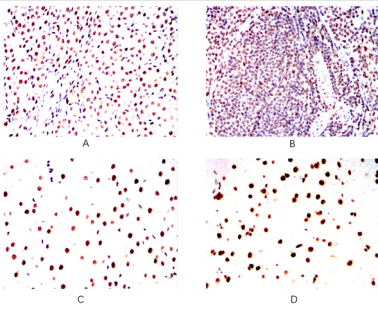
TWIST1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。



TWIST1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス腎臓 (A) マウス脾臓 (B) マウス肝臓 (C) マウス脳 (D) の免疫組織化学分析。



TWIST1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ラット腎臓 (A)、ラット脾臓 (B)、ラット肝臓 (C)、ラット脳 (D) の免疫組織化学分析。



TWIST1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ウサギ腎臓 (A)、ウサギ脾臓 (B)、ウサギ肝臓 (C)、ウサギ脳 (D) の免疫組織化学分析。